

第1学年 1学期

科目		評価について
<p>国語</p>	<p>言葉の使い方を理解し、文字を正しく書くことができる。 (知識・技能)</p>	<p>【なかよしのき】【たのしいいちにち】【わたしのなまえ】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 【こえをあわせてあいうえお】【たのしくよう1・2・3】 【くまさんとありさんのごあいさつ】【けむりのきしゃ】【おおきなかぶ】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読できる。 【かいてみよう】 ・平仮名を読み、書いている。 【あいうえお】 ・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音を注意して話している。 【かき、かぎ】【ねこ、ねっこ】【ごじゅうおん】【のぼすおん】【すずめのくらし】【しゃ、しゅ、しよ】【しらせたいことをかこう】 【は、を、へ】【えにつき】 ・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。 【みつけてはなそう、たのしくきこう】 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 【ことばをあつめよう】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使っていると同時に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 【ことばをつなごう】 ・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 【おはなしたくさんききたいな】【ほんをよもう】【としょかんへいこう】 ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>
	<p>自分の思いや考えをもつことができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【なかよしのき】【くまさんとありさんのごあいさつ】【けむりのきしゃ】【おはなしのくに】【おおきなかぶ】 「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 【たのしいいちにち】【わたしのなまえ】【こえの大ききどれくらい】【こえをあわせてあいうえお】 「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 【みつけてはなそう、たのしくきこう】 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 【かき、かぎ】【ねこ、ねっこ】【ことばをつなごう】 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 【せんせい、あのね】【よくみてかこう】 ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 【みんなに はなそう】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 【すずめのくらし】 ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 【しらせたいことをかこう】 ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 【えにつき】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p>

<p>すすんで学習に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【なかよしのき】 ・進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を話し合おうとしている。</p> <p>【たのしいいちにち】【わたしのなまえ】【こえのおおきさどれくらい】 【こえをあわせてあいうえお】 ・積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって挨拶や話、音読をしようとしている。</p> <p>【おはなしたくさんききたいな】 ・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。</p> <p>【かいてみよう】 ・進んで平仮名を読んだり書いたりし、学習課題にそって言葉を書こうとしている。</p> <p>【みつけてはなそう、たのしくきこう】 ・積極的に互いの話に関心をもち、学習の見通しをもって尋ねたり応答したりしようとしている。</p> <p>【かき、かぎ】 ・積極的に濁音・半濁音の表記、句点の打ち方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。</p> <p>【ことばをあつめよう】 ・進んで身近なことを表す語句の量を増やし、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>【くまさんとありさんのごあいさつ】 ・進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。</p> <p>【ねこ、ねっこ】 ・積極的に促音の表記、読点の使い方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。</p> <p>【ほんをよもう】 ・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を伝え合おうとしている。</p> <p>【ことばをつなごう】 ・進んで身近なことを表す語句の量を増やし、学習課題に沿って読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>【たのしくよもう1、2、3】 ・進んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p> <p>【ごじゅうおん】 ・積極的に平仮名を読み、今までの学習を生かして五十音表の特徴に気付こうとしている。</p> <p>【けむりのきしゃ】 ・進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって登場人物に手紙を書こうとしている。</p> <p>【のばす おん】 積極的に長音の表記の仕方を理解し、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>【せんせい、あのね】 ・進んで主語と述語との関係に気付こうとし、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。</p> <p>【みんなにはなそう】 ・積極的に丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付け、今までの学習を生かして身近なことを話そうとしている。</p> <p>【すずめのくらし】 ・積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを紹介しようとしている。</p> <p>【しやしゅしよ】 ・積極的に拗音の表記の仕方を理解し、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>【しらせたいことをかこう】 ・積極的に長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解し、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。</p> <p>【は、を、へ】 ・積極的に助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解し、学習の見通しをもって簡単な文を書こうとしている。</p> <p>【としょかんへいこう】【おはなしの くに】 ・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を読もうとしている。</p> <p>【おおきな かぶ】 ・進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。</p> <p>【えにつき】 ・積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして絵日記を書こうとしている。</p>
<p>算数</p> <p>数のしくみ・図形・数量関係を理解し、正しく計算をすることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【なかまつくりとかず】 ・10までの数について、数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を正しく数え数字を読んだり書いたり、数の合成、分解をすることができる。</p> <p>【なんばんめ】 ・数を用いた順序や位置の表し方を理解し、数を用いて順序や位置を表すことができる。</p> <p>【あわせていくつ ふえるといくつ】 ・足し算が用いられる場合を知り、足し算の意味を理解し、和が10以内の足し算の計算ができる。</p> <p>【のこりはいくつ ちがいはいくつ】 ・引き算が用いられる場合を知り、引き算の意味を理解し、差が10以内の引き算の計算ができる。</p> <p>【どちらがながい】 ・長さについての意味や、比較の方法、「いくつぶん」による測定の方法を理解し、長さについての基礎的な感覚を身に付け、直接比べたり、ものを使って比べたり、「いくつぶん」で比べたりする方法で測ることによって、長さを比べることができる。</p>

<p>数量や形の構成の特徴を捉えることができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【なかまづくりとかず】 ・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現している。 ・数の構成に着目し、1つの数をほかの2つの数の和や差としてとらえ、言葉や半具体物などを用いて表現している。 【なんばんめ】 ・数を順序や位置を表すものとしてみて、基点に着目して順序や位置を考え、数を用いて順序や位置を表現している。 【あわせていくつ ふえるといくつ】 ・足し算の意味に着目し、足し算の場面を式に表し、その計算の仕方を1位数の構成や操作などを用いて考え、表現している。 【のこりはいくつ ちがいはいくつ】 ・引き算の意味に着目し、引き算の場面を式に表し、その計算の仕方を数の構成や操作などを用いて考え、表現している。 【どちらがながい】 ・身の回りにあるものの長さに着目して、直接比べたり、ものを使って比べたり、「いくつぶん」による長さの比べ方を考えたり、「いくつぶん」により長さを数値で表したりしている。</p>	
<p>数や図形に親しみ、算数のよさや楽しさを感じながら学ぶことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【なかまづくりとかず】 ・数の比べ方や数え方を考えることのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【なんばんめ】 ・数を用いて順序や位置を考えることのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【あわせていくつ ふえるといくつ】 ・足し算の意味や足し算の仕方について、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【のこりはいくつ ちがいはいくつ】 ・引き算の意味や引き算の仕方について、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【どちらがながい】 ・身の回りにあるものの長さに関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。</p>	
<p>生活</p>	<p>自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気づき、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【がっこうだいすき】 ・学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。 【きれいにさいてね】 ・植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。 【なつがやってきた】 ・夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。</p>
	<p>身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【がっこうだいすき】 ・学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。 【きれいにさいてね】 ・植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち働かしている。 【なつがやってきた】 ・夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。</p>
	<p>身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、すすんで学習に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【がっこうだいすき】 ・学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとしている。 (発言、行動観察) 【きれいにさいてね】 ・植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。 【なつがやってきた】 ・夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。</p>
<p>音楽</p>	<p>音楽の仕組みに気づき、歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【どんな歌があるかな】 ・曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ・思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。 【リズムとなかよし】 ・思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。 【ことばのリズムであそぼう】 ・言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ・発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。 【にっぽんのうた みんなのうた】 ・思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。</p>
	<p>音楽表現を考えたことや、音楽を楽しんで聴くことができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【どんな歌があるかな】 ・拍、速度、旋律、リズム、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見出して聴いたりしている。 【リズムとなかよし】 ・リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【ことばのリズムであそぼう】 ・リズムや音色などを聴き取り、それらの働きが生み出す面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【にっぽんのうた みんなのうた】 ・拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p>

<p>楽しく音楽に関わり、身の回りの音楽に親むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【どんな歌があるかな】 ・歌ったり、音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【リズムとなかよし】 ・拍に合わせていろいろなリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【ことばのリズムであそぼう】 ・言葉とリズムとの関わりや、打楽器の音色に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【にっぽんのうた みんなのうた】 ・情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>図画工作 用具の使い方を知り、つくったり、かいたりすることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【すきなもののいっぱい】 ・好きなものを描き、作品を見せ合うことを通して、形や色の面白さやよさに気付いている。 クレヨンやパスなどの扱いに慣れるとともに、形や色、描き方を工夫して表している。</p> <p>【ねんどとなかよし】 ・粘土に働きかける感覚や行為を通して、触った感じや形の変化に気付いている。 ・丸める、のばす、つまむなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。</p> <p>【クレヨンやパスとなかよし】 ・クレヨンやパスのいろいろな表し方を試すことを通して、そこから生まれる形や色の面白さに気付いている。 ・こすって写したり、塗り重ねたりするなど、いろいろな表し方を試しながら工夫して表している。</p> <p>【いろいろならべて】 ・同じ形を並べる活動を通して、形や色、並べ方の面白さなどに気付いている。 ・形や色に着目して材料を並べるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。</p> <p>【チョッキンパツでかざろう】 ・紙の折り方や切り方を変えたり、それらを組み合わせたりすることを通して、いろいろな形や色の模様が表せることに気付いている。 ・紙の折り方や切り方をさまざまに試すなど、新しい表し方を見つけながら工夫して表している。</p> <p>【ながーいかみから】 ・細長い紙に描き、互いの作品を見せ合うことを通して、画用紙の形とテーマの関係の面白さに気付いている。 ・表したいことをもとに、形や色、描き方を工夫して表している。</p> <p>【うきうきボックス】 ・飾り付けを考えたり、互いの作品を見せ合ったりすることを通して、箱の形や色を生かした表現の面白さやよさに気付いている。 ・箱の形や色を生かした飾り付けをするなど、表し方を工夫して表している。</p> <p>【さわってかくのきもちいい】 手や指で描くことを通して、絵の具の跡の形や色の違いに気付いている。 指や手のひらを動かす勢いや強さなどを変えるなど、手の感覚を働かせながら工夫して表している。</p> <p>【みてみて、いっぱいつくったよ】 ・粘土を使ったいろいろな表し方に気付いている。 ・粘土を丸める、のばす、引き出す、つけるなど、表したいことをもとに工夫して表している。</p>
<p>作ることの面白さや楽しさに気付くことができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【すきなもののいっぱい】 ・経験したことや想像したことをもとに表したいものを見付け、どのように表すかを考えている。</p> <p>【ねんどとなかよし】 ・粘土に触った感じやそこから生まれる形をもとに造形的な活動を思い付き、どのように活動するかを考えている。</p> <p>【クレヨンやパスとなかよし】 ・いろいろな描き方をもとに表したいことを見付け、どのように表すかを考えている。</p> <p>【いろいろならべて】 ・材料の形や色、大きさなどの特徴をもとに造形的な活動を思い付き、どのように活動するかを考えている。</p> <p>【チョッキンパツでかざろう】 ・紙を折ったり切ったりしてできる形をもとに表したい模様を見付け、どのように表すかを考えている。</p> <p>【ながーいかみから】 ・長い画用紙の形をもとに表したいことを見付け、どのように表すかを考えている。</p> <p>【うきうきボックス】 ・空き箱の形や色をもとにつくりたいものを思い付き、どのように表すかを考えている。</p> <p>【さわってかくのきもちいい】 ・指や手のひらで思いのままに描いたり塗ったりした形や色から表したいことを見付け、どのように表すかを考えている。</p> <p>【みてみて、いっぱいつくったよ】 ・これまでの経験や想像したことをもとに粘土でつくりたいものを思い付き、どのように表すかを考えている。</p>

<p>楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【すきなもののいっぱい】 ・思いつくままに絵を描くことに興味をもち、楽しく取り組もうとしている。</p> <p>【ねんどとなかよし】 ・粘土の触り心地のよさ味わいながら、いろいろな形を見つけることを楽しもうとしている。</p> <p>【クレヨンやパスとなかよし】 ・クレヨンやパスのいろいろな表し方に関心をもち、楽しく取り組もうとしている。</p> <p>【いろいろならべて】 ・材料の形や色に関心をもち、いろいろな材料の並べ方を試しながら、楽しく取り組もうとしている。</p> <p>【チョッキンパッドかざろう】 ・紙の折り方や切り方を変えることで、いろいろな形や模様が表せることに興味をもち、楽しく取り組もうとしている。</p> <p>【ながーいかみから】 ・いつもと違う形の画用紙に絵を描くことに興味をもち、楽しく取り組もうとしている。</p> <p>【うきうきボックス】 ・空き箱の形の特徴を生かしてつくる活動に関心をもち、楽しく取り組もうとしている。</p> <p>【さわってかくのきもちいい】 ・どろどろ絵の具を指や手のひらにつけて描いたり塗ったりする快さを味わいながら、楽しく取り組もうとしている。</p> <p>【みてみて、いっぱいつくったよ】 ・粘土で好きなものをたくさんつくことに興味をもち、粘土の心地よい感触を味わいながら楽しく取り組もうとしている。</p>
<p>体育</p> <p>運動の仕方を知り、いろいろな運動ができる。 (知識・技能)</p>	<p>【体ほぐしの運動遊び】 ・手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。</p> <p>【走の運動遊び】 ・いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすることができる。</p> <p>【マットを使った運動遊び】 ・いろいろな方向へ転がり、手で支えて体の保持や回転をすることができる。</p> <p>【リズム運動遊び】 ・リズム遊びの行い方を知り、軽快なリズムの音楽に乗って弾んで踊ったり、友達と調子を合わせたりして即興的に踊ることができる。</p> <p>【多様な動きをつくる運動遊び】 ・用具を持つ、降ろす、回す、転がす等の動きで構成される運動遊びを通して、用具を操作する動きを身に付けることができる。</p>
<p>それぞれの運動を工夫して活動し考えたことを他者に伝えることができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【体ほぐしの運動遊び】【多様な動きをつくる運動遊び】 ・体をほぐしたり多様な動きをつくらしたりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。</p> <p>【走の運動遊び】 ・走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。</p> <p>【マットを使った運動遊び】 ・器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。</p> <p>【リズム運動遊び】 ・身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫することができる。</p>
<p>きまりを守り、なかよく運動することができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【体ほぐしの運動遊び】【多様な動きをつくる運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。</p> <p>【走の運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができる。</p> <p>【マットを使った運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。</p> <p>【リズム運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、誰とも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができる。</p>

第1学年 2学期

科目 国語		評価について
	<p>言葉の使い方を理解し、文字を正しく書くことができる。 (知識・技能)</p>	<p>【なつのおもいでをはなそう】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 【かたかなのことば】【かたかな】 ・片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。 【けんかした山】【かん字のはじまり】【かぞえた】【かぞえよう】 【かん字のひろば①②】【かん字のよみかた】 ・当該学年に配当されている漢字を読んでいる。 【みんなでたのしくよみましょう】【しをよもう】【あめのうた】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 【だれが、たべたのしょう】【うみへのながいたび】 ・文の中における主語と述語の関係に気付いている。 【たのしかったことをかこう】【見つけたよ、いきもののひみつ】 【のりものカード】でしらせよう【きこえてきたよ、こんなことば】 ・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 【はたらくじどう車】【えを見ておはなししよう】 ・身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 【天にのぼったおげやさん】 ・昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、学習の見通しをもっておもしろかったところを発表しようとしている。 【ころぼかほか手がみをかこう】 【おはなしどうぶつえん】をつくって、本をしょうかいしよう ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 【スイミー】 ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>
	<p>自分の思いや考えをもつことができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【なつのおもいでをはなそう】【えを見ておはなししよう】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 (発言、ノートかワークシート) 【けんかした山】【うみへのながいたび】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 【みんなでたのしくよみましょう。】 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 【だれが、たべたのしょう】【はたらくじどう車】 ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 【たのしかったことをかこう】【のりものカード】でしらせよう ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 【しをよもう】【うみへのながいたび】【天にのぼったおげやさん】 【スイミー】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 【見つけたよ、いきもののひみつ】【うみへのながいたび】 【きこえてきたよ、こんなことば】 ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 【はたらくじどう車】 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【ころぼかほか手がみをかこう】 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 【おはなしどうぶつえん】をつくって、本をしょうかいしよう ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>

【なつの おもいでを はなそう】
・積極的に話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習の見通しをもって質問や感想を言おうとしている。

【かたかなの ことば】
・積極的に片仮名で書く語の種類を知り、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。

【けんかした 山】
・進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって考えたことを発表したり文章にまとめたりしようとしている。

【みんなで たのしく よみましょう。】
・進んで文章を読んで感じたことを共有し、学習の見通しをもって役割を決めて音読しようとしている。

【かん字の はじまり】
・進んで当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。

【だれが、たべたのでしょう】
・積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを話そうとしている。

【たのしかった ことを かこう】
・進んで経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。

【かぞえうた】
進んで言葉遊びに親しみ、学習の見通しをもってリズムよく音読しようとしている。

【かぞえよう】
進んで漢字を読み、学習の見通しをもって文や文章の中で使おうとしている。

【しを よもう】
・進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。

【見つけたよ、いきものの ひみつ】
・積極的に経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。

【かかれて いる ことを たしかめよう】【はたらく じどう車】
・進んで時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことを説明しようとしている。

【「のりものカード」で しらせよう】
・進んで事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「のりものカード」を書こうとしている。

【えを 見て おはなしよう】
・進んで話題を決め、学習課題に沿って少人数で話し合おうとしている。

【かん字の ひろば】【日づけと よう日】
・積極的に漢字を読み、学習課題に沿って音読しようとしている。

【うみへの ながい たび】
・進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えた言葉を発表しようとしている。

【きこえて きたよ、こんな ことば】
・進んで想像したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして簡単なお話を書こうとしている。

【天に のぼった おげやさん】
・進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、学習の見通しをもっておもしろかったところを発表しようとしている。

【かたかな】
・積極的に片仮名を読み、見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。

【かん字の ひろば ②】【かん字の よみかた】
・進んで漢字を読み、今までの学習を生かして使い方によって複数の読み方がある漢字を知ろうとしている。

【こころ ほかほか 手がみを かこう】
・粘り強く文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正し、学習の見通しをもって手紙を書こうとしている。

【スイミー】
・進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。

【「おはなしどうぶつえん」を つくって、本を しょうかいしよう】
・積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、今までの学習を生かして「おはなしどうぶつえん」を作り、本を紹介しようとしている。

すすんで学習に取り組むことができる。
(主体的に学習に取り組む態度)

算数

【わかりやすく せいりしよう】
・ものの個数を種類ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりすることができる。

【10より おおきいかず】
・40までの数を数え数字を読んだり書いたりすることができる。
・20までの数の構成を足し算や引き算の式に表すことができる。

【なんじ、なんじはん】
・何時、何時半の時刻の読み方を理解して時刻を読んだり、時計で表現したりすることができる。

【3つのかずのけいさん】
・3つの数の足し算、引き算の場面を1つの式に表せることを理解し、その計算をすることができる。

【どちらがおおい】
・体積の意味を知り、様々な方法で比べることができる。

【たしざん】
・繰り上がりのある足し算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算をすることができる。

【かたちあそび】
・身の回りにあるものの形について、その特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりするとともに、図形についての豊かな感覚をもっている。

【ひきざん】
・繰り下がりのある引き算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算をすることができる。

数のしくみ・図形・数量関係を理解し、正しく計算をすることができる。
(知識・技能)

<p>数量や形の構成の特徴を捉えることができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【わかりやすく せいりしよう】 ・データの個数に着目し、身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴をとらえている。 【10より おおきいかず】 ・10のまとまりに着目し、40までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックで表現している。 ・20までの数の繰り上がりや繰り下がりのない足し算、引き算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現している。 【なんじ、なんじはん】 ・時計の短針と長針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。 【3つのかずのけいさん】 ・3つの数の足し算、引き算の式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。 【どちらがおおい】 ・体積の比べ方を考えたり、体積を数値で表している。 【たしざん】 ・10のまとまりに着目し計算の仕方を操作や図を用いて考え、表現している。 【かたちあそび】 ・身の回りにあるものの形について、その特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりして表現している。 【ひきざん】 ・10のまとまりに着目し計算の仕方を操作や図を用いて考え、表現している。</p>	
<p>数や図形に親しみ、算数のよさや楽しさを感じながら学ぶことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【わかりやすく せいりしよう】 ・簡単な絵や図を用いて、データの個数を表したりその特徴をとらえたりして、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【10より おおきいかず】 ・数の構成を活用して数の数え方や、足し算、引き算の仕方について、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【なんじ、なんじはん】 ・時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【3つのかずのけいさん】 ・3つの数の式の表し方や計算の仕方について、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【どちらがおおい】 ・身の回りに入る入れ物に入る水の体積に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【たしざん】 ・足し算の仕方について、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【かたちあそび】 ・身の回りにあるものの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能を捉えたり、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【ひきざん】 ・引き算の仕方について、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。</p>	
<p>生活</p>	<p>自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気づき、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【いきものとなかよし】 ・身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。 【たのしいあきいっぱい】 ・秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びや遊びに使うものを工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。 【じぶんでできるよ】 ・家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。</p>
<p>身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【いきものとなかよし】 ・身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち働きかけている。 【たのしいあきいっぱい】 ・秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。 【じぶんでできるよ】 ・家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家族のことや自分でできることなどを見付けている。</p>	
<p>身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、すすんで学習に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【いきものとなかよし】 ・身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。 【たのしいあきいっぱい】 ・秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。 【じぶんでできるよ】 ・家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。</p>	

音楽

<p>音楽の仕組みに気付き、歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【こんにちはけんぱんハーモニカ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ・鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。 <p>【もりあがりをかんじて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ・思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 <p>【いいおとみつめて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打楽器の音の響きの特徴や、音色と演奏の仕方との関わりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ・発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 <p>【おとのスケッチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の高さや強弱、様々な声の出し方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ・発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。
<p>音楽表現を考えることや、音楽を楽しんで聴くことができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【こんにちはけんぱんハーモニカ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 <p>【もりあがりをかんじて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 <p>【いいおとみつめて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色や呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにして思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。 <p>【おとのスケッチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の高さや強弱、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。
<p>楽しく音楽に関わり、身の回りの音楽に親しむことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【こんにちはけんぱんハーモニカ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカで様々な表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 <p>【もりあがりをかんじて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 <p>【いいおとみつめて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打楽器の音色や演奏の仕方などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 <p>【おとのスケッチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

図画工作

<p>用具の使い方を知り、つくったり、かいたりすることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【せんのかんじいいかんじ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆の太さや手を動かす速さや強さを変えることを通して、筆触や色の違いに気付いている。 ・筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら、工夫して表している。 <p>【ふわふわゴー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの作品で遊ぶことを通して、飾りの形・色の面白さやよさに気付いている。 ・動きの特徴を生かした飾りをつけたり、絵を描いたりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。 <p>【さらさら だるだる いいきもち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土を掘ったり、積んだり、丸めたりする活動を通して、土の触った感じに気付いている。 ・掘る、積む、並べる、水と混ぜるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。 <p>【ちぎってはって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちぎった色画用紙を並べたり貼ったりすることを通して、形や色の美しさや面白さに気付いている。 ・ちぎった色画用紙の並べ方や貼り方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに工夫して表している。 <p>【あそぼうよ、バクパクさん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕組みを生かした作品をつくり、遊ぶことを通して、飾り付けの形や色の面白さやよさに気付いている。 ・動きの特徴に合わせた飾りをつけたり、絵を描いたりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。 <p>【スタンプスタンプ！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな材料を写すことを通して、写った形や色の面白さに気付いている。 ・転がす・並べる・ずらすなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。 <p>【ひかりの くのにの なかまたち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料や作品を光にかざすことを通して、光が透過する材料の形や色の面白さに気付いている。 ・袋の形を考えたり中に入れる材料を選んだりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。 <p>【おしらせします！にっこりニュース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気付いている。 ・伝えたい気持ちをもとに、形や色、描き方を工夫して表している。
--	---

<p>作ることの面白さや楽しさに気付くことができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【せんのかんじいいかんじ】 ・思いのままに描いた絵の具の跡から表したいことを見付け、どのように表すかを考えている。 【ふわふわゴー】 ・浮く仕組みや動きの特徴をもとにつくりたいものを思い付き、どのように表すかを考えている。 【ちぎってはって】 ・ちぎった色画用紙の形や色などをもとに表したいことを見付け、どのように表すかを考えている。 【あそぼうよ、パクパクさん】 ・動く仕組みや動きの特徴をもとにつくりたいものを思い付き、どのように表すかを考えている。 【スタンプスタンプ！】 ・身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思い付き、どのように活動するかを考えている。 【ひかりのくのに なかまたち】 ・材料の形や色などをもとにつくりたいものを思い付き、どのように表すかを考えている。 【おしらせします！にっこりニュース】 ・自分の経験したことをもとに伝えたいニュースを思い付き、どのように表すかを考えている。</p>	
<p>楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【せんのかんじいいかんじ】 ・絵の具を筆で塗る快さを味わいながら、心を開いて楽しく取り組もうとしている。 【ふわふわゴー】 ・風で動くおもちゃをつくる活動に関心をもち、楽しく取り組もうとしている。 【ちぎってはって】 ・ちぎり絵で表すよさを味わいながら、楽しく取り組もうとしている。 【あそぼうよ、パクパクさん】 ・パクパクと動く様子やそのしぐまに関心をもち、活動に楽しく取り組もうとしている。 【スタンプスタンプ！】 ・写すことに関心をもち、いろいろな材料の写し方を試しながら、楽しく取り組もうとしている。 【ひかりのくのに なかまたち】 ・光を通した材料の美しさや面白さに関心をもち、楽しく取り組もうとしている。 【おしらせします！にっこりニュース】 ・伝えたいことを絵に表すことに関心をもち、楽しく取り組もうとしている。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">体育</p>	<p>運動の仕方を知り、いろいろな運動ができる。 (知識・技能)</p>	<p>【ボールゲーム】 ・簡単なボール操作と攻めと守りの動きによって、易しいゲームをすることができる。 【跳の運動遊び】 ・前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすることができる。 【多様な動きをつくる運動遊び】 ・姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、座る、立つ等の動きやバランスを保つ動きで構成される運動遊びを通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 【跳び箱を使った運動遊び】 ・跳び乗りや跳び下り、手を着いての、またぎ乗りやまたぎ下りをする事ができる。 【鬼遊び】 ・一定の区域で、逃げたり、追いかけたり、陣地を取り合ったりすることができる。</p>
<p>それぞれの運動を工夫して活動し考えたことを他者に伝えることができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【ボールゲーム】 ・簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 【跳の運動遊び】 ・走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに考えたことを友達に伝えることができる。 【多様な動きをつくる運動遊び】 ・体をほぐしたり多様な動きをつくらしたりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 【跳び箱を使った運動遊び】 ・器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 【鬼遊び】 ・簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。</p>	
<p>きまりを守り、なかよく運動することができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【ボールゲーム】 ・運動遊びに進んで取り組み、規則を守り誰とも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。 【跳の運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲良く運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。 【多様な動きをつくる運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。 【跳び箱を使った運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲良く運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。 【鬼遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、規則を守り誰とも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。</p>	

第1学年 3学期

科目 国語		評価について
	言葉の使い方を理解し、文字を正しく書くことができる。 (知識・技能)	【しをたのしもう】【お手がみ】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 【みぶりでつたえる】【ことばでつたえよう】 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 【文をつくろう】 ・文の中における主語と述語の関係に気付いている。 【かん字のひろば③④】【かわるよみかた】【にているかん字】 ・当該学年に配当されている漢字を読んでいる。 【学校のことをつたえあおう】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 【おもい出のアルバム】 ・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 【しりとりであそぼう】 ・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付いている。 【こくごのがくしゅう これまでとこれから】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。
	自分の思いや考えをもつことができる。 (思考・判断・表現)	【みぶりで つたえる】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 【みぶりで つたえる】【お手がみ】 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 【みぶりで つたえる】【お手がみ】 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 【学校のことをつたえあおう】 ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 【学校のことをつたえあおう】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 【おもい出の アルバム】 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 【おもい出の アルバム】 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 【おもい出の アルバム】【お手がみ】 ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 【こくごの がくしゅう これまで これから】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 【こくごの がくしゅう これまで これから】 ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
	すずんで学習に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)	【しを たのしもう】【ゆき】 ・進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。 【ぶんしょうと えを あわせて よもう】【みぶりで つたえる】 ・積極的に文章の内容と自分の体験とを結び付けて、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。 【文をつくろう】 ・進んで文の中における主語と述語との関係に気付こうとし、学習課題に沿って簡単な文を作ろうとしている。(行動観察、発言) 【かん字の ひろば ③】【かわる よみかた】 ・進んで漢字を読み、今までの学習を生かして使い方によって読み方が変わる漢字を知ろうとしている。 【きいた ことを 正しく つたえよう】【学校の ことを つたえあおう】 ・進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。 【ことばで つたえよう】 ・言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習課題に沿って言葉で表そうとしている。 【つたえたい ことを おもい出して かこう】【おもい出の アルバム】 ・積極的に文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもってよいところを伝え合おうとしている。 【かん字の ひろば】【にている かん字】 ・積極的に漢字を読み、学習課題に沿って形の似た漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。 【しりとりで あそぼう】 ・進んで音節と文字との関係に気付こうとし、今までの学習を生かしてしりとりを楽しもうとしている。 【ようすを おもいうかべながら よもう】【お手がみ】 ・進んで文章を読んで感じたことを共有し、学習課題に沿って登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。 【こくごの がくしゅう これまで これから】 ・進んで話題を決め、今までの学習を生かして思い出したことや2年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。

<p>算数</p>	<p>数のしくみ・図形・数量関係を理解し、正しく計算をすることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【おおきいかず】 ・120程度までの数の読み方、数え方、書き方、数の構成や大小などを理解することができる。 ・2位数の数の構成を足し算や引き算の式に表すことができる。 【どちらがひろい】 ・面積についての意味や、比較の方法、「いくつぶん」による測定の方法を理解し、面積についての基礎的な感覚を身に付け、直接比べたり、「いくつぶん」で比べたりする方法で測ることによって、面積を比べることができる。 【なんじなんぶん】 ・何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。 【たしざんとひきざん】 ・順序を表す数や異なる仲間の数を含む足し算や引き算の場面、求大(AはBよりいくつ多い)や求小(AはBよりいくつ少ない)の場面も足し算や引き算の式に表せることを理解し、問題を解決することができる。 【かたちづくり】 ・身の回りにあるものの形の特徴をとらえ、直線で構成されたものも面で表されたものと同じようにみられることを理解できる。 ・色板や数え棒を並べていろいろなものの形を構成したり分解したりすることができる。</p>
	<p>数量や形の構成の特徴を捉えることができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【おおきいかず】 ・既習の数の表し方の仕組みを基に、簡単な場合の2位数の足し算、引き算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現している。 【どちらがひろい】 ・身の回りにあるものの面積に着目して、直接比べたり、「いくつぶん」による面積の比べ方を考えたり、「いくつぶん」により面積を数値で表したりしている。 【なんじなんぶん】 ・短針と長針の関係をとらえて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり、時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして、表現している。 【たしざん ひきざん】 ・数量の関係に着目し、順序を表す数や異なる仲間の数を含む足し算や引き算の場面、求大(AはBよりいくつ多い)や求小(AはBよりいくつ少ない)の場面を図や式に表して考え、表現している。 【かたちづくり】 ・身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴をとらえたり、いろいろな形を構成、分解したりして、表現している。</p>
	<p>数や図形に親しみ、算数のよさや楽しさを感じながら学ぶことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【おおきいかず】 ・数の構成を活用して、数の数え方や足し算、引き算の仕方について、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【どちらがひろい】 ・身の回りにあるものの面積に関心を持ち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【なんじなんぶん】 ・時刻に関心を持ち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 ・順序を表す数や異なる仲間の数を含む足し算や引き算の場面、求大(AはBよりいくつ多い)や求小(AはBよりいくつ少ない)の場面を図に表して問題を解決することのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【かたちづくり】 ・身の回りにあるものの形について、形の特徴を捉えたり、構成、分解したりすることのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。</p>
<p>生活</p>	<p>自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気づき、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【ふゆをたのしもう】 ・冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。 【もうすぐ2ねんせい】 ・入学してからの1年間を振り返ったり、年長児との関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。</p>
	<p>身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【ふゆをたのしもう】 ・冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、公共物や公共施設のよさを感じたり動きを捉えたりしている。 【もうすぐ2ねんせい】 ・入学してからの1年間を振り返ったり、年長児との関わりを深めたりする活動を通して、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだり、自分のことや支えてくれた人々について見付けたりしている。</p>
	<p>身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、すすんで学習に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【ふゆをたのしもう】 ・冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。 【もうすぐ2ねんせい】 ・入学してからの1年間を振り返ったり、年長児との関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。</p>
<p>音楽</p>	<p>音楽の仕組みに気づき、歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 (知識・技能)</p>	<p>【きょくのながれ】 ・曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わり合いに気付いている。 【めざせがっきめいじん】 ・曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。 ・思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。 【うたでまねっこ】 ・曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わり合いに気付いている。 ・思いに合った表現に必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。 【みんなであわせて】 ・旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ・発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。</p>

<p>音楽表現を考えることや、音楽を楽しんで聴くことができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【きよくのながれ】 ・旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【めざせがっきめいじん】 ・旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 【うたでまねっこ】 ・フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【みんなであわせて】 ・旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。</p>
<p>楽しく音楽に関わり、身の回りの音楽に親しむことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【きよくのながれ】 ・曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【めざせがっきめいじん】 ・楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【うたでまねっこ】 ・聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【みんなであわせて】 ・短い旋律をついたり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>図画工作</p>	<p>用具の使い方を知り、つくったり、かいたりすることができる。 (知識・技能)</p> <p>【みて、さわって、かんじて】 いろいろな種類の紙を見たり触ったりする活動を通して、形や色、触った感じなどの違いに気付いている。 【くしゃくしゃしたら、だいへんしん】 ・薄紙に触れることを通して、そこから生まれる形や色、触った感じなどに気付いている。 ・表したいことをもとに、形や色の組み合わせやつくり方を工夫して表している。 【できたらいいな、こんなこと】 ・互いの作品を見合うことを通して、描かれているものの形や色のよさに気付いている。 ・伝えたい気持ちをもとに、いろいろな描画材料の表し方を試しながら工夫して表している。 【はことはこをくみあわせて】 ・いろいろな紙箱を組み合わせることを通して、紙箱の形や色の面白さに気付いている。 ・紙箱の組み合わせ方や飾り付け、接着の方法など、表したいことをもとに工夫して表している。 【こころのはなをさかせよう】 ・みんなで作品を飾ることを通して、花の形や色のよさや面白さに気付いている。 ・伝えたい気持ちをもとに、花の形や色の表し方を工夫して表している。</p>
<p>作ることの面白さや楽しさに気付くことができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【みて、さわって、かんじて】 ・いろいろな種類の紙の、形や大きさ、色、触った感じなどの違いや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。 【くしゃくしゃしたら、だいへんしん】 ・くしゃくしゃにした薄紙の形や色、触った感じなどをもとに、表したいことを見付けている。 【できたらいいな、こんなこと】 ・経験したことや想像したことをもとに「やってみたいこと」を思い付き、どのように表すかを考えている。 【はことはこをくみあわせて】 ・紙箱の形や色などをもとにつくりたいものを思い付き、どのように表すかを考えている。 【こころのはなをさかせよう】 ・新入生や卒業生への思いをもとに飾りたい花を思い付き、どのように表すかを考えている。</p>
<p>楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【みて、さわって、かんじて】 ・いろいろな紙の形や色、触った感じに関心をもち、手や体全体の感覚を動かして楽しく取り組もうとしている。 【くしゃくしゃしたら、だいへんしん】 ・くしゃくしゃにした薄紙から形をみつけて表すことに関心をもち、楽しく取り組もうとしている。 【できたらいいな、こんなこと】 ・経験したことから自由に想像を広げながら、楽しく絵を描く活動に取り組もうとしている。 【はことはこをくみあわせて】 ・箱を組み合わせることによっていろいろな形ができることに関心をもち、楽しく取り組もうとしている。 【こころのはなをさかせよう】 ・新入生や卒業生に喜んでもらおうと、気持ちを込めて絵を描く活動に取り組もうとしている。</p>
<p>体育</p>	<p>運動の仕方を知り、いろいろな運動ができる。 (知識・技能)</p> <p>【体ほぐしの運動遊び】 ・手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。 【ボールゲーム】 ・簡単なボール操作と攻めと守りの動きによって、易しいゲームをすることができる。 【鬼遊び】 ・一定の区域で逃げたり、追いかけたり、陣地を取り合ったりすることができる。 【多様な動きをつくる運動遊び】 ・姿勢、速さ、リズム、方向等を変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される運動遊びや一定の速さでの駆け足などの運動遊びを通して、様々な行い方で体を移動する動きを身に付けることができる。 【跳び箱を使った運動遊び】 ・跳び乗りや跳び下り、手を着いての、またぎ乗りやまたぎ下りをするすることができる。</p>
<p>それぞれの運動を工夫して活動し考えたことを他者に伝えることができる。 (思考・判断・表現)</p>	<p>【体ほぐしの運動遊び】【多様な動きをつくる運動遊び】 ・体をほぐしたり多様な動きをついたりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 【ボールゲーム】【鬼遊び】 ・簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 【跳び箱を使った運動遊び】 ・器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。</p>

<p>きまりを守り、なかよく運動することができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>【体をほぐしの運動遊び】【多様な動きをつくる運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。</p> <p>【ボールゲーム】【鬼遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。</p> <p>【跳び箱を使った運動遊び】 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。</p>
---	--